

2018 保育学科介護福祉専攻履修系統図

保育学科介護福祉専攻のディプロマポリシー

心豊かな人間力
人間性と品格を備えた社会人として行動
できる

確かな専門的知識や技能
介護福祉の専門的知識と技能を修得
し、体系的な理解ができる

コミュニケーション能力
介護が必要な人や家族、職場の同職種・
多職種及び地域の人とコミュニケーションす
ることができる。

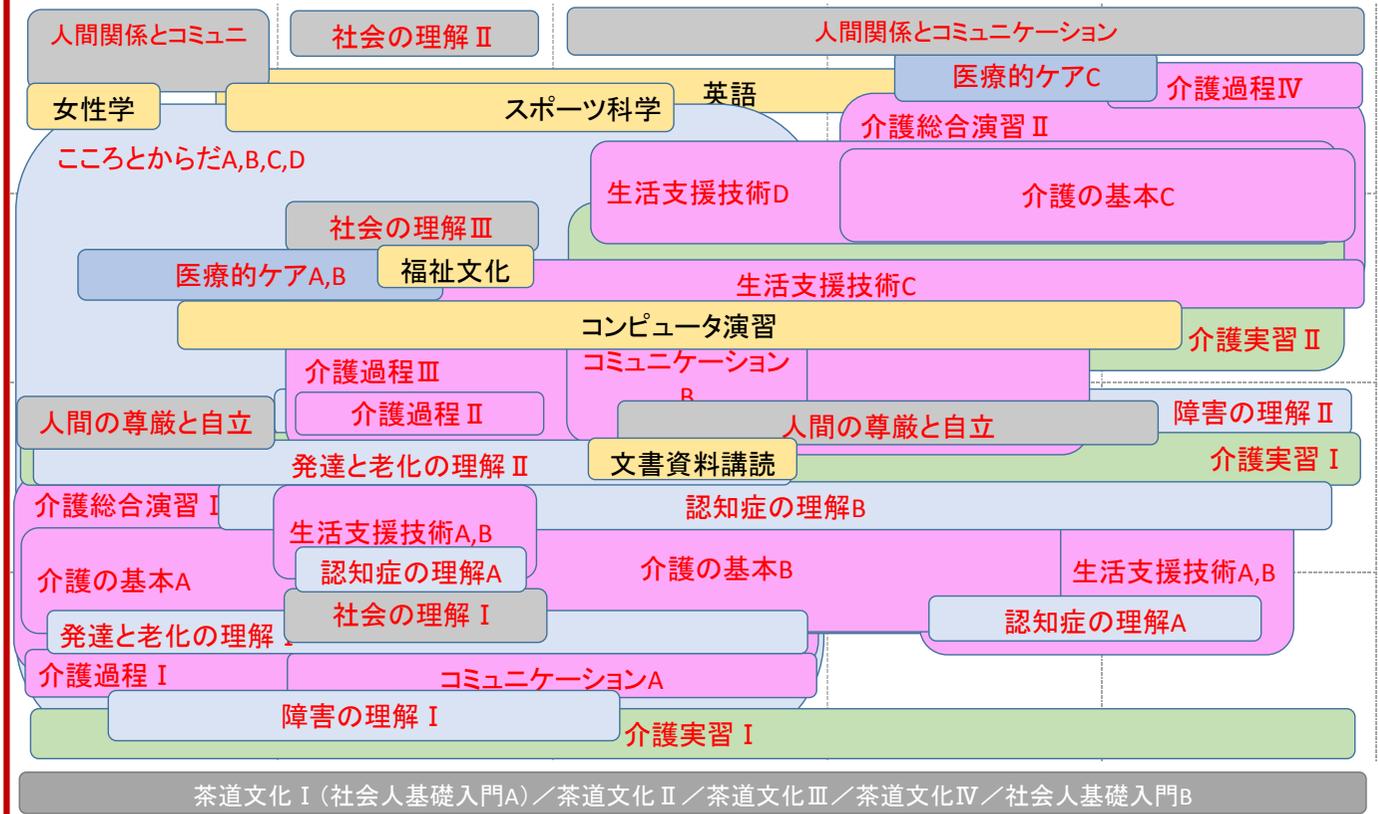
課題解決力
(実践力)
専門的な知識や技能を用いて本人や家
族のエンパワメントを見出し、自立を支え

主体的に学ぶ力
自分の介護観や理想とする介護福祉士
像になるためにキャリアデザインすること
ができる。

セメスター到達目標
<p>1 介護の職業人としての基本的な素養を身につけている 2 生活課題を系統的に判断して、具体的な介護目標を設定することができる 3 積極的な関心、適切な関与により介護が必要な人の潜在能力を引き出すことができる 4 実習等で得られた課題を適切に判断して介護を実践することができる 5 介護福祉士としての職業倫理を尊重し、研鑽を積むことができる</p>
<p>1 介護が必要な人の人間関係における複雑な思いに適切に配慮し、信頼関係を築くことができる 2 介護の流れを理解し、対象者に合わせた介護を導くことができる 3 記録や報告等の文書の作成を適切に行うことができる 4 実習等において解決すべき課題を発見し、介護実践することができる 5 介護福祉士の社会的役割と倫理について認識し、地域とつながる大切さを理解できる</p>
<p>1 周りの人に対する思いやりをもって関係を作ることができる 2 基礎的な介護福祉の知識・技能を理解・習得することができる 3 自分自身の理解に努めるとともに、相手を理解することができる 4 介護に関する課題を見出し、それについて考察・意見を述べることができる 5 介護が必要な人の思いを理解し、家族・地域・社会との関係性にも視野を広げることができる</p>
<p>1 興味を持って意欲的に学習し、学び続ける態度を身につけている 2 基礎的な介護福祉の知識・技能の必要性を理解し、説明することができる 3 コミュニケーションにおける信頼関係構築の重要性を認識し、状況に応じて適切な挨拶や言葉づかいができる 4 介護福祉に関する様々な事象に関心を持つことができる 5 人権擁護の視点を大切にし、人間理解の基本的な姿勢を身につけている</p>
<p>2年後期</p>
<p>2年前期</p>
<p>1年後期</p>
<p>1年前期</p>
<p>全学共通科目</p>

カリキュラムポリシー
(教育課程編成の方

1 人間力を養うため、「茶道文化」「社会人基礎入門」をはじめとした基礎科目、「人間の尊厳と自立」「人間関係とコミュニケーション」「介護の基本」などの専門科目を配置する
2 専門的知識と技能を養うため、介護の領域として「介護の基本」「生活支援技術」など、こころとからだのしくみの領域として「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」など、人間と社会の領域として「社会の理解」など、順次性と系統性を考慮しながら配置する
3 コミュニケーション能力を養うため、基礎的な知識の習得を目指して「コミュニケーション技術」を配置し、また、コミュニケーション能力を発揮する機会として「介護実習」を配置する
4 課題解決能力を養うため、「介護過程」を配置し、「介護の基本」「生活支援技術」といった知識と技能の習得に関する科目と「介護実習」をつなぐ
5 主体的に学ぶ力を養うため、実習前後の準備と事例研究の作成を行う「介護総合演習」と59日間の「介護実習」を配置する



カリキュラムポリシー
(実施の方針)

対話型授業を～、アクティブ・ラーニングの～、法令と専攻事例によって～、課題発見と課題解決を～、多角的な成績評価によって～、シラバスによる目標・計画などの明確化、アクティブ・ラーニング、厳正な成績評価、GPA・ポートフォリオを用いた到達度の総合評価